

郡上市農業振興ビジョン



岐阜県 郡上市

平成 21 年 3 月

農業振興ビジョンの策定にあたって

郡上市長 日置敏明



郡上市では、豊かで美しい水や、冷涼な気象条件を活かした農業を進めてまいりましたが、農家人口の減少、高齢化の進展や担い手不足、鳥獣害などにより厳しい状況が続いており、農業産出額は平成14年に比べて平成18年には11%減少しています。また、近年輸入農産物の残留農薬や事故米問題などにより、農産物の安全性や健康な食生活に関心が高まってきており、これらに対応する施策の展開が重要となってきました。

こうした中、国においては、新たな食料・農業・農村基本計画を定め、「水田経営所得安定対策」や「農地・水・環境保全向上対策」を打ち出すなど、戦後の農政は大きな転換期を迎えています。

このように農業を取り巻く情勢が大きく変化する中で、農業を職業として選択できるよう農業の持続的発展とその基盤である農村の振興を図っていくために「郡上市農業振興ビジョン」を策定しました。

本ビジョンの基本理念を「自然と共生した農・林・畜産・水産業を育てます」とし、10年後の郡上市農業の将来像を明らかにするとともに、その実現に向け、「8つの基本方針」を掲げ、当面5年間に重点的に取り組む施策メニューを示すなど、本市の農業振興の基本となる計画としました。

このビジョンの実現に向けて、地域の実情に即した施策を農業者の皆さんはもとより関係団体や消費者の皆さんと一丸となって推進してまいりますので、一層のご協力をお願いします。

ビジョン策定にあたりまして、貴重なご意見やご助言をいただきましたビジョン策定検討委員のみなさんやパブリックコメントにおいてご意見をいただきました市民のみなさんに厚くお礼申し上げます。

平成21年3月

目 次

| | |
|----------------------------|----|
| はじめに | |
| 1 趣 旨 | 1 |
| 2 性 格 | 1 |
| 3 期間と構成 | 1 |
| 4 策定に当たっての考え方 | 2 |
| 第1章 郡上市の農業の現状と課題 | |
| 1 農家戸数及び農家人口 | 3 |
| 2 農業の担い手 | 4 |
| 3 耕地面積 | 6 |
| 4 農業産出額と生産農業所得 | 7 |
| 5 鳥獣害被害 | 9 |
| 6 水 産 | 9 |
| 第2章 農業振興の基本理念及び基本方針 | |
| 農業振興の基本理念及び基本方針 | 10 |
| 第3章 農業振興の将来像 | |
| 農業振興の将来像 | 11 |
| 第4章 将来像達成に向けた取り組み | |
| 1 生産体制の強化 | 15 |
| 2 担い手の育成 | 18 |
| 3 農地の有効活用 | 23 |
| 4 自然環境の保全 | 25 |
| 5 地産地消の推進 | 26 |
| 6 集落ぐるみの多面的機能の維持・保全 | 28 |
| 7 交流の魅力向上 | 29 |
| 8 販売戦略の強化 | 32 |
| 第5章 品目別の振興方向 | |
| 1 水 稻 | 34 |
| 2 麦 | 34 |
| 3 大豆・そば | 34 |
| 4 野 菜 | 35 |
| 5 花 き | 39 |
| 6 お 茶 | 40 |
| 7 畜 産 | 41 |
| 8 果 樹 | 42 |
| 9 しいたけ | 43 |
| 10 水 産 | 44 |
| 第6章 推進体制 | |
| 推進体制 | 45 |

第1章 郡上市の農業の現状と課題

1 農家戸数及び農家人口

農家人口（表1）は、平成7年の23,993人から、10年後の平成17年には19,943人となり4,050人（16.9%）減少しました。また、総農家数は、同じく5,537戸から4,829戸と708戸（12.8%）減少しています。

農家の形態（表2）については、平成12年と平成17年を比較すると専業農家が231戸から257戸と26戸（11.3%）増加し、兼業農家については、第一種兼業農家、第二種兼業農家を合わせた戸数は、同じく2,560戸から1,981戸と579戸（22.6%）の減となっており、経営形態の種別ごとには第二種兼業農家の減少がほとんどとなっています。自給的農家については、同じく2,362戸から2,591戸と229戸（9.7%）の増となり、全体の53.7%と農家戸数の半数以上を占めるようになっていきます。

県内の他の市と比較してみると、農家の形態割合は飛騨市、下呂市と似ていますが、農家数は、高山市とほぼ同数で、専業、第一種兼業農家の合計戸数が、高山市の984戸（専業農家+第1種兼業割合20.8%）に対し、郡上市が416戸（専業農家+第1種兼業割合8.6%）と半数以下となっています。

表1 農家人口、総農家戸数

| | 農家人口(人) | | | | 総農家戸数(戸) | | | |
|-------------|---------------|---------------|---------------|-------------------|--------------|--------------|--------------|-------------------|
| | 平成 7年 | 平成 12年 | 平成 17年 | 増減 (対平成7 年) | 平成 7年 | 平成 12年 | 平成 17年 | 増減 (対平成7 年) |
| 八幡 | 4,654 | 4,289 | 3,677 | 977 | 1,084 | 1,010 | 918 | 166 |
| 大和 | 4,382 | 4,193 | 3,801 | 581 | 980 | 926 | 890 | 90 |
| 白鳥 | 6,574 | 6,544 | 5,756 | 818 | 1,537 | 1,487 | 1,407 | 130 |
| 高鷲 | 2,245 | 2,046 | 1,929 | 316 | 512 | 455 | 435 | 77 |
| 美並 | 2,791 | 2,433 | 1,984 | 807 | 602 | 545 | 467 | 135 |
| 明宝 | 1,521 | 1,336 | 1,304 | 217 | 349 | 303 | 307 | 42 |
| 和良 | 1,826 | 1,681 | 1,492 | 334 | 473 | 427 | 405 | 68 |
| 郡上市計 | 23,993 | 22,522 | 19,943 | 4,050 | 5,537 | 5,153 | 4,829 | 708 |

1995.2000.2005 農林業センサスによる

表2 専業・兼業・自給的別農家戸数

| | 販売農家(戸) | | | 自給的農家(戸) | 合計(戸) | 専業農家/総数(%) | 兼業農家/総数(%) | 自給的農家/総数(%) |
|-------|---------|-------|-------|----------|--------------|------------|------------|-------------|
| | 専業農家 | 兼業農家 | | | | | | |
| | | 第一種兼業 | 第二種兼業 | | | | | |
| 平成12年 | 231 | 167 | 2,393 | 2,362 | 5,153 | 4.5 | 49.7 | 45.8 |
| 平成17年 | 257 | 159 | 1,822 | 2,591 | 4,829 | 5.3 | 41.0 | 53.7 |
| 下呂市 | 108 | 79 | 706 | 1,630 | 2,523 | 4.3 | 31.1 | 64.6 |
| 飛騨市 | 129 | 85 | 791 | 1,048 | 2,053 | 6.3 | 42.7 | 51.0 |
| 高山市 | 410 | 574 | 2,123 | 1,623 | 4,730 | 8.7 | 57.0 | 34.3 |

2000.2005 農林業センサスによる

2 農業の担い手

農業就業人口(表3)については、6,173人となっています。男は3,419人、女が2,754人で、農家1戸あたりの農業就業人口は1.28人で下呂市の1.01人より多くなっています。また、65歳以上の高齢化率は41.5%となっており、岐阜県平均37.2%と比較して4.3ポイント高くなっています。

表3 農業就業人口の状況

| | 総農家戸数(戸) | 農業就業人口(人) | | | | 農家1戸当たり農業就業人口(人) | 高齢化率(%) |
|-------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|------------------|--------------|
| | | 総数 | 男 | 女 | うち65歳以上 | | |
| | | | | | | | |
| 八幡 | 918 | 1,086 | 591 | 495 | 496 | 1.20 | 45.7% |
| 大和 | 890 | 1,122 | 631 | 491 | 443 | 1.23 | 39.5% |
| 白鳥 | 1,407 | 1,964 | 1,076 | 888 | 814 | 1.40 | 41.4% |
| 高鷲 | 435 | 575 | 307 | 268 | 215 | 1.32 | 37.4% |
| 美並 | 467 | 441 | 258 | 183 | 170 | 0.94 | 38.5% |
| 明宝 | 307 | 414 | 241 | 173 | 171 | 1.35 | 41.3% |
| 和良 | 405 | 571 | 315 | 256 | 253 | 1.41 | 44.3% |
| 郡上市計 | 4,829 | 6,173 | 3,419 | 2,754 | 2,562 | 1.28 | 41.5% |
| 下呂市 | 2,523 | 2,538 | 1,394 | 1,144 | 1,106 | 1.01 | 43.6% |
| 飛騨市 | 2,053 | 3,077 | 1,647 | 1,430 | 1,149 | 1.50 | 37.3% |
| 高山市 | 4,730 | 10,109 | 5,225 | 4,884 | 3,429 | 2.14 | 33.9% |

2005 農林業センサスより 年齢別農業就業人口(自営農業に主として従事した世帯員)

農業後継者(表4)については、「同居後継者あり」の世帯が57.7%となっています。これは平成12年の59.9%より2.2ポイント減少しており、「¹他出後継者あり」も平成12年の20.7%から15.5%と5.2ポイント減少しています。逆に「他出後継者なし」については平成12年の19.4%から26.8%と7.4ポイントの増加となっており、農業後継者の農業離れが心配されます。

また、他の市と比較してみると「同居後継者あり」では、下呂市55.4%、飛騨市54.1%、高山市51.6%に対し、郡上市は57.7%と若干ではありますが高い割合を示しており、「他出後継者なし」については、他の市より低い割合となっていますが、現在の農業を取巻く状況を考えると楽観視できません。

表4 農業後継者の状況(販売農家)

| | 同居後継者あり | | 他出後継者あり | | 他出後継者なし | | 合計 |
|--------------|--------------|--------------|------------|--------------|------------|--------------|--------------|
| | (戸) | (%) | (戸) | (%) | (戸) | (%) | (戸) |
| 平成12年 | 1,671 | 59.9% | 579 | 20.7% | 541 | 19.4% | 2,791 |
| 平成17年 | 1,291 | 57.7% | 348 | 15.5% | 599 | 26.8% | 2,238 |
| 下呂市 | 495 | 55.4% | 125 | 14.0% | 273 | 30.6% | 893 |
| 飛騨市 | 544 | 54.1% | 113 | 11.2% | 348 | 34.6% | 1,005 |
| 高山市 | 1,603 | 51.6% | 243 | 7.8% | 1,261 | 40.6% | 3,107 |

2000.2005 農林業センサス 農業後継者の就業状態別農家数

担い手として重要な役割を果たす認定農業者の数(表5)については、平成17年度末には128経営体(うち法人12経営体)で、平成19年には140経営体(うち法人17経営体)となっており増加しています。これは、国の施策が担い手を中心に進められる中、経営規模を拡大し、農業を職業として捉え、専業をめざす農家が、徐々に増えていることの表れと言えます。また、郡上市の農業の担い手を育成するため、各機関が連携して資格取得を推進した結果と考えられます。

表5 認定農業者数

単位:人

| | 平成17年 | 平成18年 | 平成19年 |
|--------|-------|-------|-------|
| 認定農業者数 | 128 | 142 | 140 |
| うち法人数 | (12) | (16) | (17) |

郡上市調べ

¹ 他出後継者 同居はしていないが将来の後継予定者。

3 耕地面積

平成 17 年の岐阜県の耕地面積における水田の比率が、76.8%に対して、郡上市は73.4%と若干低い割合となっています。

販売農家の耕地面積規模（表 7）については、0.3～0.5ha の農家の割合が 56%、0.5～1.0ha が 34%と 1.0ha 以下の農家が 90%を占めています。また、自給的農家も含めた農家 1 世帯当たりの耕地面積は 0.63ha で、岐阜県平均の 0.75ha と比較すると耕地面積の小規模な農家世帯が多くなっています。

表6 耕地面積

単位:ha

| | 計 | 田 | 普通畑 | 樹園地 | 牧草地 | 水田比率 |
|----------------|--------------|--------------|------------|-----------|------------|--------------|
| 平成 17 年 | 3,037 | 2,230 | 459 | 63 | 285 | 73.4% |
| 平成 12 年 | 3,212 | 2,352 | 489 | 79 | 292 | 73.2% |
| 下呂市 | 1,240 | 875 | 255 | 79 | 35 | 70.6% |
| 飛騨市 | 1,530 | 1,190 | 227 | 40 | 70 | 77.8% |
| 高山市 | 4,980 | 3,330 | 1,100 | 192 | 366 | 66.9% |
| 岐阜県 | 59,100 | 45,400 | 8,420 | 4,100 | 1,180 | 76.8% |

耕地面積調査による

表7 経営耕地面積規模別農家数(販売農家)

| | 戸数 (戸) | 0.3ha 未満 | 0.3～ 0.5ha | 0.5～ 1.0ha | 1.0～ 1.5ha | 1.5ha～ |
|------------|--------------|-------------|---------------|---------------|---------------|-----------|
| 郡上市 | 2,238 | 1% | 56% | 34% | 3% | 6% |
| 下呂市 | 893 | 3% | 57% | 32% | 5% | 3% |
| 飛騨市 | 1,005 | 1% | 44% | 37% | 10% | 8% |
| 高山市 | 3,107 | 1% | 27% | 39% | 15% | 18% |

2005 農林業センサスによる

4 農業産出額と生産農業所得

(1) 農業産出額

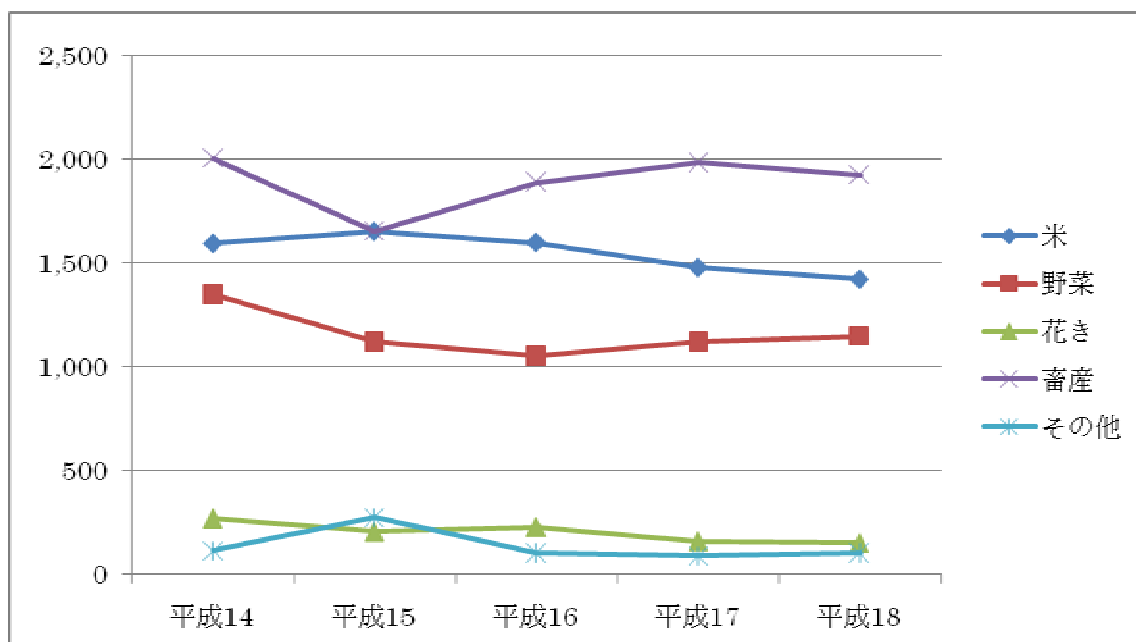
平成 18 年の郡上市農業産出額は 4,758 百万円で、平成 14 年の 5,340 百万円と比較すると 582 百万円 (10.9%) 減少しています。種別ごとに見ると米が 14 年と比較し 172 百万円 (10.8%) の減、野菜が 202 百万円 (14.9%) の減、花きが 117 百万円 (43.2%) の減などとなっており、特に花きの減が大きくなっています。また、畜産については同比較 79 百万円 (3.9%) の減と減少幅が小さく、郡上市での農業産出額の 40.5% を占めています。

表8 農業産出額

単位:百万円

| | 平成 14 年 | 平成 15 年 | 平成 16 年 | 平成 17 年 | 平成 18 年 |
|-----|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|
| 米 | 1,596 | 1,654 | 1,601 | 1,480 | 1,424 |
| 野菜 | 1,352 | 1,123 | 1,054 | 1,123 | 1,150 |
| 花き | 271 | 207 | 229 | 162 | 154 |
| 畜産 | 2,005 | 1,654 | 1,891 | 1,984 | 1,926 |
| その他 | 116 | 275 | 104 | 91 | 104 |
| 合計 | 5,340 | 4,913 | 4,879 | 4,840 | 4,758 |

平成 14～18 年生産農業所得統計による



(2) 生産農業所得

郡上市の生産農業所得については、平成 12 年の 1,961 百万円に対し、平成 17 年が 1,554 百万円で、407 百万円 (20.8%) の減、販売農家 1 戸あたりの生産所得では同比較 59 千円の減となっており、農業専従者 1 人当たりの生産農業所得は同比較 190 千円の減、耕地 10a 当たりの生産農業所得は同比較で 10 千円 (16.4%) の減となっています。これは米価の下落が要因の一つと考えられます。

また、他の市と比較すると、生産農業所得の 1,554 百万円は、下呂市の 783 百万円や飛騨市の 1,222 百万円より多くなっていますが、耕地 10a 当たりの生産農業所得は低くなっています。

表9 生産農業所得の状況

| | 平成 12 年 | | | | 平成 17 年 | | | |
|------------|---------------------|---------------|---------------|----------------|---------------------|---------------|---------------|----------------|
| | 生産 農業所得 (百万円) | 生産性(千円) | | | 生産 農業所得 (百万円) | 生産性(千円) | | |
| | | 農家 1 戸 当たり | 耕地 10a 当たり | 農業専従者 1人当たり | | 農家 1 戸 当たり | 耕地 10a 当たり | 農業専従者 1人当たり |
| 郡上市 | 1,961 | 381 | 61 | 1,061 | 1,554 | 322 | 51 | 871 |
| 下呂市 | 1,120 | 430 | 86 | 1,096 | 783 | 310 | 63 | 824 |
| 飛騨市 | 1,573 | 713 | 102 | 1,331 | 1,222 | 595 | 81 | 1,096 |
| 高山市 | 8,601 | 1,683 | 159 | 1,818 | 6,754 | 1,427 | 137 | 1,488 |

農業所得 平成 12、17 年生産農業所得より

5 鳥獣害被害

面積の大半を山林が占める郡上市では、鳥獣害被害が深刻となっています。平成 19 年度の被害額は約 67,000 千円（表 10）にのぼっています。鳥獣種別被害ではイノシシが最も多く全体の 58.3%となっており、シカ 19.3%、サル 17.1%と続いています。里山や山際の農地の荒廃や、個体数の増加などにより、今後、被害の増加が懸念されます。

表10 鳥獣種別被害額

単位:千円

| | 平成 16 年 | 平成 17 年 | 平成 18 年 | 平成 19 年 |
|---------|---------|---------|---------|---------|
| イノシシ | 53,058 | 25,265 | 39,677 | 39,016 |
| サル | 19,677 | 10,220 | 18,791 | 11,484 |
| シカ | 7,152 | 3,811 | 12,314 | 12,930 |
| カラス | 1,706 | 563 | 1,364 | 750 |
| ハクビシン | 247 | 901 | 1,732 | 1,017 |
| タヌキ・キツネ | 21 | | | |
| 不明 | 870 | 773 | 1,771 | 1,782 |
| 被害総額 | 82,731 | 41,533 | 75,649 | 66,979 |

郡上市調査より

6 水産

郡上市における淡水魚の漁獲量は、平成 14 年度から減少していますが、平成 18 年度の河川漁業漁獲額は 1,341 百万円で、平成 14 年の 1,320 百万円と比較すると 21 百万円（1.6%）増加しています。これは、平成 18 年に販売単価の高い鮎の漁獲量が増えたことが要因と考えられます。

表11 郡上市における河川漁業漁獲量

| | 平成 14 年 | 平成 15 年 | 平成 16 年 | 平成 17 年 | 平成 18 年 |
|----------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 漁獲量 (kg) | 265,364 | 236,406 | 223,022 | 194,298 | 196,638 |
| 漁獲額(百万円) | 1,320 | 1,396 | 1,290 | 1,259 | 1,341 |

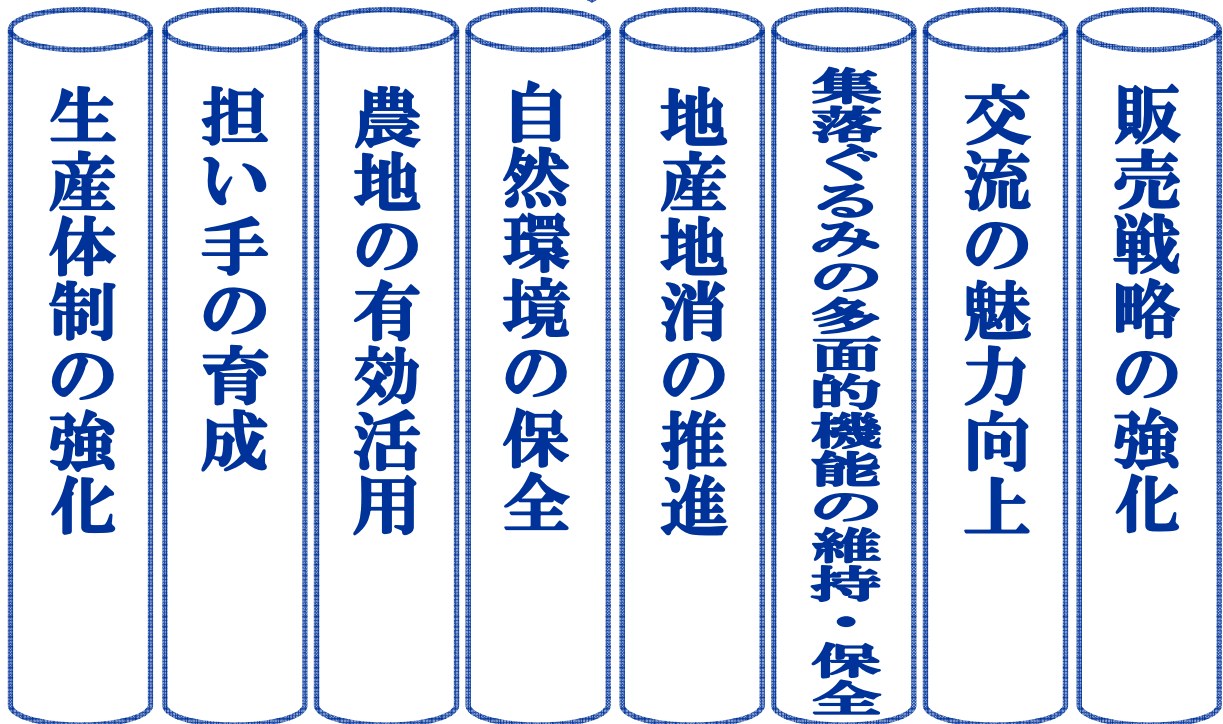
岐阜県「河川動態調査」及び「養殖業動態調査」による。

第2章 農業振興の基本理念及び基本方針

基本理念

自然と共生した
農・林・畜産・水産業を育てます

基本方針



郡上市は清流長良川に代表される澄んだ水、面積の9割を豊かな山々に囲まれた自然に恵まれた地域です。

農業は稲作を中心に、海拔 110m ~ 1000m の多様な条件を活かした作物を栽培してきました。

近年、食の安全や環境問題がクローズアップされる中、今後、農業の果たす役割は、ますます重要となっています。郡上市は多様な環境を活かし、安心・安全な食料を供給するとともに、農業も郡上市の豊かな自然の中の一部という考え方にたって、自然と共生する優たかな農業振興をめざします。